

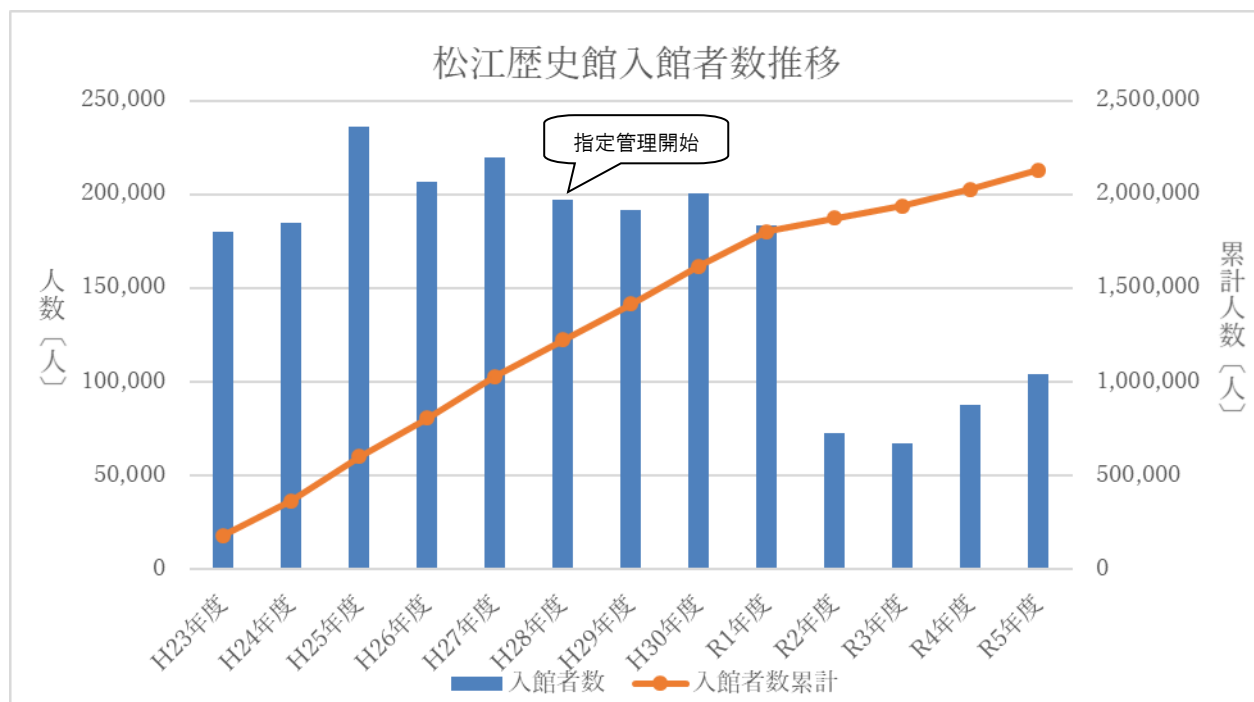
令和6年度 松江歴史館運営協議会

会議資料

- 令和5年度の事業実績について
 - ・入館者数・観覧者数…………… 1 ～ 2
 - ・展示・企画…………… 3 ～ 5
 - ・資料取得・調査研究・教育普及・広報等…………… 6 ～ 8
 - ・広報・誘客・施設管理…………… 9 ～ 11
- 令和6年度の主な運営状況について…………… 12 ～ 16
- 令和7年度運営方針・事業計画（案）について…………… 17 ～ 20
- 松江歴史館運営協議会委員名簿…………… 21
- 松江歴史館運営協議会に関する法律・例規条文（抜粋）…………… 22

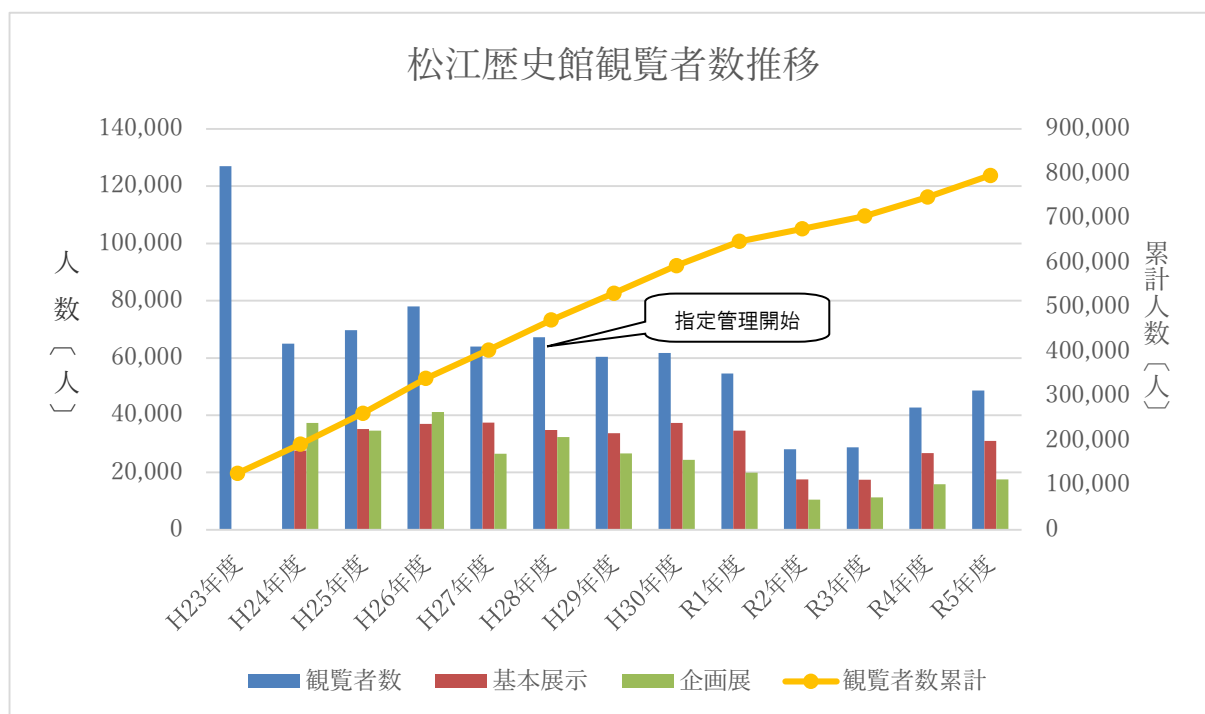
松江歴史館

令和5年度の事業実績（入館者数・観覧者数）



入館者数 104,049 人（前年：87,451 人、前年比 119.0%）

※敷地内に入った人数



観覧者数 48,647 人（前年：42,673 人、前年比 114.0%） 【目標値：52,000 人】

※基本・企画展示室の観覧者数

【入館者数、観覧者数の評価】

- 新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から「5類感染症」に移行となり、行動制限等もなくなったことから、令和4年度と比較すると入館者・観覧者ともに増加した。特に学校が休みに入った夏から行楽シーズンの秋にかけて観光客が増加したことに伴い、当館の観覧者数も増加したが、コロナ禍前の観覧者数までには至らなかった。
- 入館者数の前年比 119.0%に対し、観覧者数は前年比 114.0%であった。
- 令和5年度の松江城と松江歴史館との2館共通券利用者は5,926人で、松江城登閣者の約2%であった。松江歴史館では松江城や城下町の成り立ち等について紹介しており、松江城との関連が非常に強い。松江城との連携を高め、城と松江歴史館の両方を見てもらえるような取り組みが必要である。
- 展示の観覧目的で来館した人の割合が前年よりも多かった。(R5年度 60.4%、R4年度 48.8%)

松江歴史館

令和5年度事業実績（展示・企画）

（1）企画展・特別展 ※企画展示室での展覧会

企画展名	会期	内容	観覧者数(人)
【企画展】 出雲国の白隠・大雅・風外 —往来する禅と書画—	R5. 4. 28～ 6. 25 (52日間)	白隠・大雅・風外という出雲国にゆかりの3人による書画を展覧し、松江や出雲での足跡や伝承などを紹介した。	2,797人 (約54人/日)
【企画展】 みんなの小学校 150年のあゆみ	R5. 7. 21～ 9. 24 (57日間)	松江の小学校に残る教育資料や写真を通じ、各時代の教育や子どもたちの様子などから、150年間の学校のあゆみを振り返った。	5,453人 (約96人/日)
【特別展】 漆壺斎と勝軍木庵 —花開く松江の漆文化—	R5. 10. 20～ 12. 10 (45日間)	出雲の名工として名高い漆壺斎と勝軍木庵の作品を紹介し、松江藩の漆芸文化を振り返った。	3,646人 (約81人/日)
【館蔵品展】 明治時代のサムライたち —松江藩士の行く末—	R6. 1. 26～ 3. 31 (57日間)	初公開の三浦周行家文書を中心に、旧松江藩士家伝の古文書等を通じて、激動の明治時代における士族の生き様を辿った。	4,256人 (約75人/日)



出雲国の白隠・大雅・風外



みんなの小学校



漆壺斎と勝軍木庵



明治時代のサムライたち

【企画展・特別展のトピック】

・出雲国の白隠・大雅・風外—往来する禅と書画—

- 池大雅の生誕 300 周年を記念し、大雅が出雲国を訪れるきっかけとなった白隠と、大雅の書画に私淑した風外についても大雅とあわせて紹介し、江戸時代の松江や出雲が文化的に豊かな土地で著名な文化人たちにゆかりがあることを伝えた。
- 静嘉堂文庫美術館の学芸員の吉田恵理氏に「白隠禅師と文人画家 池大雅」について、講演いただいた。(参加者 43 人)
- 月 1 回開催している松江おもしろ談義で、当館の担当学芸員により企画展の見どころを紹介した。(参加者 26 人)
- 企画展の関連イベントとして、島根県仏教会に協力いただき、写経体験や坐禅体験を行った。(参加者 25 人)

→玄関ホールで企画展の導入展示（バナー）を行った。

（会期：4月28日（金）～6月25日（日））

→エネルギー文化・スポーツ財団助成金を受け、企画展を実施した。

・企画展「みんなの小学校 150年のあゆみ」

→明治6年に初めて松江に小学校が開校し、以来、各町に開校し、制度の改変や統合分離を繰り返して現在に至るまでの松江の小学校があゆんだ150年の歴史を教育資料や写真などを通じ紹介した。

→紫雲丸遭難事故生存者の会の野津幸次氏に「紫雲丸遭難事故について」講演いただき、あわせて当館の担当学芸員が「徒歩で行く明治時代の広島旅行」について講演した。（参加者39人）

→関連イベントとして、小早川恵子氏の演奏による足踏みオルガンコンサート（2日間で参加者73人）や、水燈路期間にあわせた一夜かぎりのナイトミュージアムを行った。ナイトミュージアムには、820人の観覧があった。また、小学校で使用した給食器を使用し軽食（パン・牛乳・デザート）を提供した（提供数210セット）。

→企画展の開催にあわせ、玄関ホールで、松江市内の全ての木造校舎を写真パネルで紹介した。（会期：7月21日（金）～9月24日（日））

・特別展「漆壺斎と勝軍木庵―花開く松江の漆文化―」

→松江藩松平家7代目藩主松平治郷（不昧）に取り立てられ、号を与えられた塗師である初代・小島漆壺斎と、松江藩松平家9代目藩主松平斉貴のお抱え蒔絵師であった勝軍木庵光英。出雲の名工として名高い両者の作品を紹介し、松江藩の漆芸文化を振り返った。

→三井記念美術館学芸部長の小林祐子氏に「不昧に愛された蒔絵師―羊遊斎と漆壺斎」について講演いただいた。（参加者66人）

→月1回開催している松江おもしろ談義で、当館の担当学芸員が企画展に関連し、「漆器の鑑賞を楽しむ」という内容で講演した。（参加者37人）

→山陰中央新報社主催の松江城大茶会の開催にあわせ、10月28日・29日に限り、大茶会の半券を提示したら、団体料金で企画展示等を観覧できるようにした。（半券割引利用者195人）

→文化庁による「令和5年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業」の助成を受けて、日英韓中の4か国語で展示解説（ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」を活用）を行うとともに、展示図録にも掲載した。

→社団法人Expeと連携し、国内外の観光客を対象とした特別展に関連するツアーの造成を行った。内容は、①八雲塗の絵付け体験と特別展・基本展の観覧、②和菓子作り体験と特別展・基本展の観覧。

→市文化振興課と連携し、YouTube「まっえダイアリー」で特別展を紹介する動画を公開した。

・館蔵品展「明治時代のサムライたち―松江藩士の行く末―」

→明治時代、松江の士族は主君と身分を失い、俸禄も廃止されていく中で、新たな生き方の選択を迫られた。社会の変革期における士族の生き様を、館所蔵の旧松江藩士家伝の古文書等を通じて辿った。

→当館名誉館長の藤岡大拙氏に「郷土松江が生んだ国史学の泰斗 三浦周行博士」について講演いただいた。（参加者40人）

→月1回開催している松江おもしろ談義で、当館の担当学芸員が館蔵品展に関連し、「松江藩士ゆかりの古文書を読む」という内容で講演した。（参加者46人）

→明治時代のサムライの人生をテーマにしたすごろく遊びや、基本展示と企画展示内にあるクイズを解いて暗号を解読するイベント（参加者155人）を行った。

→館蔵品展の開催にあわせ、玄関ホールで明治時代の風景や人物の写真をパネルで紹介した。

(会期：1月2日(金)～3月31日(日))

→松江市立中央図書館にて三浦周行氏の紹介をしたパネル展示を行った。

(会期：2月23日(金)～3月28日(木))

→市文化振興課と連携し、YouTube「まつえダイアリー」で館蔵品展を紹介する動画を公開した。

(2) スポット展示・ミニ展示（展示室などの一角を利用した館蔵品中心の小展示）

・スポット展示（基本展示室内の展示コーナーの一角で展示）：計6回

→「出雲札の巡礼道」 4月4日～5月28日

「絵師・小村成章―松江を描く―」 5月30日～7月30日

「徳川家康の城―『極秘諸国城図』より―」 8月1日～9月24日

「初代漆壺斎と同世代の工芸」 9月26日～11月26日

「引札」 11月28日～1月28日

「女性を描く」 1月30日～3月31日

・ミニ展示（企画展示室前のホールで展示）（無料）：計6回

→「不昧のハンコ」 4月4日～5月28日

「若槻禮次郎が書いた「天満書」」 5月30日～7月30日

「水郷松江―橋を飾る擬宝珠―」 8月1日～9月24日

「松江の木工―新収蔵品を中心に―」 9月26日～11月26日

「料理と酒のうつわ―楽山焼と布志名焼―」 11月28日～1月28日

「明治のお仕事―松江の写真師―」 1月30日～3月31日

(3) その他

・「公開承認施設」としての取り組み

→国宝・重要文化財の展示実績（令和5年度）

■該当なし

※公開承認の要件

5年間に重要文化財の公開を適切に3回以上行った実績があること。

松江歷史館

令和5年度事業実績（資料取得・調査研究・教育普及・広報等）

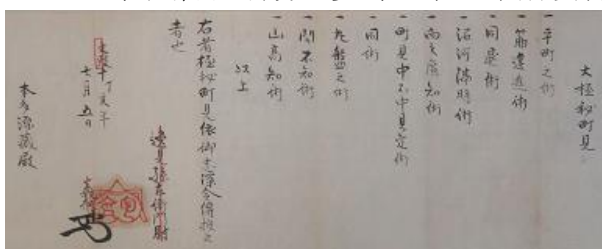
(1) 資料の取得

・購入・・・計3件

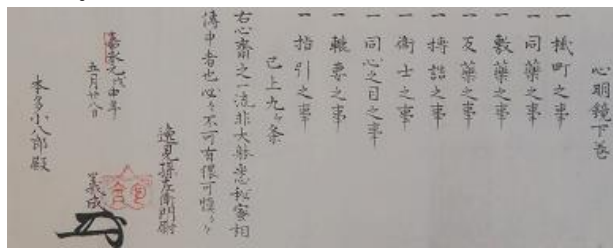
「砲術伝書」2点

(大極秘町見 1 点、心明鏡下卷 1 点)

→ 松江藩の砲術師である逸見孫左衛門から松江藩士の本多氏に与えた免許状。ともに伝授した項目のみを記しているため、それがどのようなものであるかは不明である。逸見孫左衛門の流派については、未解明の部分が多く、当館にも関係資料がない。



大極秘町見

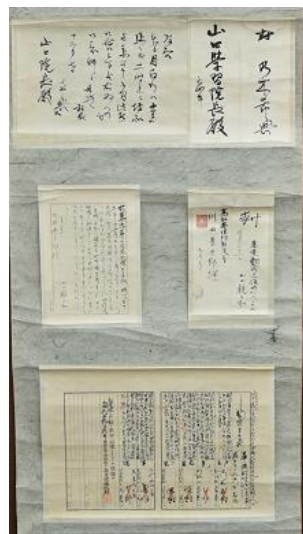


心明鏡下卷

「乃木希典書簡幅」 1 幅

→①乃木希典書狀②山口銳之助書狀③乃木家戸籍抄本からなる。

①は明治 39 年 12 月 7 日に学習院院長であった山口に宛て、面会の時間を知らせたもの。乃木は翌年 1 月末に山口の跡を受け学習院院長となる。建築中であった目白の学習院校舎のそばで相談するために送った書状である。②は①について、川田徳太郎が尋ねたことへの返事で、①の解説である。③は、大正元年に発行された乃木家戸籍抄本である。乃木希典夫妻は明治天皇崩御の際に殉死しているため、抹消されている。当資料は、山口鋭之助が学習院院長であったこと、その後継が乃木希典であったことを関連づけるものである。



永原与蔵順睦 作「布志名焼 唐草文杯洗」 1点

永原雲永 作「布志名焼 七福神図三つ組杯」1組

→杯洗と杯台が兼用できる布志名焼の台（以降、杯洗とする）と七福神を描いた三つ組みの杯で、いずれも布志名焼特有の黄釉を地とする。杯洗は、唐草文を色絵で描き、台の脚裏に「雲与」の小判型の印がある。先行研究から、黄釉の作品に「雲与」印を作品に押すのは初代与蔵順睦であるとされていることから、本作は初代の作品だと考えられる。三つ組みの杯は、3代永原雲永らしい精緻な筆致で描かれる七福神が目を引く作品である。三つの杯いずれの高台の隣に「雲永」印がある。江戸時代の松江藩御用窯の足跡を示す作品である。



唐草文杯洗

・寄贈・・・計28件

1	漂着朝鮮人肖像画	8 枚
2	土谷連之助関係資料(紀元 2600 年式典関係)	19 件
3	松平直亮下賜資料 (朱塗盃 1 点、杯台 1 組)	2 点
4	磯田家文書	5 件
5	若槻禮次郎漢詩「北越途中之作」	1 幅
6	草光信成作品一式	5 点
7	草光信成作肖像画	1 点
8	兼本春篁筆「白木蓮・桃園」、佐藤愛山(喜八郎)筆「山水図」	2 点
9	高田家文書	一式
10	若槻禮次郎書状	1 点
11	村島家文書	18 点
12	卒業記念写真帖	1 冊
13	教育勅語渙発四十年記念 教育勅語表解	1 点
14	梅木家資料	9 点
15	筑陽神社(川上家)文書	34 点
16	写真「北堀小学校の運動会」(昭和 40 年頃)、写真「北堀小学校講堂横で遊ぶ女の子」(昭和 40 年頃)	2 枚
17	訓練生手牒	1 冊
18	櫓(堀川で使用)	1 本
19	草光信成自画像	1 点
20	富田徳太郎関係資料	8 点
21	松江亀田城内より眺望図	1 点
22	八雲塗孔雀図盆、足立碧圃作李白図額ほか	15 点
23	古今雛、三ツ折れ人形、雛人形定価表	3 点
24	短冊(「遊翁」の署名あり)	1 点
25	草光信成作品	23 点
26	松江市内写真(ホーランエンヤ、集合写真など)	11 点
27	梅木家資料	4 点
28	村田写真館看板(装飾部材)	1 点

・寄託(新規)・・・計3件

・移管・・・計1件

1	木村義男作「母子像」	1 点
---	------------	-----

(2) 調査・研究

・『松江歴史館研究紀要 第12号』の刊行 → 論考5件を掲載。

1	江戸時代後期から明治時代初期における出雲札巡礼の実態について	笠井 今日子
2	明治二十七年の修学旅行「旅行日記帳」について	新庄 正典
3	松江における明治二十四年「第一回新古美術品展覧会」(二)	村角 紀子
4	伝尼子清定・経久・政久・晴久石塔について	岡崎雄二郎・西尾克己 稲田信・木下誠・樋口英行

5	「城地選定の地」から撮影された松江市街全景写真（二）	山本 盛治
---	----------------------------	-------

（３）教育・普及

・名誉館長講座

→藤岡名誉館長による古代から近代までの出雲の歴史についての講座。（月 1 回 5 月～3 月、定員 60 名）

・松江おもしろ談義－歴史をたずねる・美術にしたい－

→学芸員による松江の歴史や美術に関する講座。（月 1 回 参加者合計 360 人）

4 月 23 日（日）「松平治郷とその史料－松平治郷（不昧公）研究会の成果とこれから」
40 人

5 月 21 日（日）「仏像の中の仏像－松江歴史館の薬師如来坐像」 33 人

6 月 18 日（日）「企画展『出雲国の白隠・大雅・風外』の見どころ－風外本高を中心に」
20 人

7 月 16 日（日）「野原八幡宮の七十五膳神事と慶長期木碗」 19 人

8 月 20 日（日）「松江沈没」 31 人

9 月 17 日（日）「松江城下町の橋と擬宝珠」 35 人

10 月 15 日（日）「松江の仏像 誰が造ったの？」 25 人

11 月 19 日（日）「漆器の鑑賞を楽しむ」 37 人

12 月 17 日（日）「『列士録』を読む－奥女中から藩士となった家－」 29 人

1 月 21 日（日）「松江が誇る版画家・平塚運一の画業と新出資料について」 23 人

2 月 18 日（日）「松江藩士三浦家ゆかりの古文書を読む」 46 人

3 月 17 日（日）「女性を描く－松江の近代画家・生島竹雨を中心に－」 22 人

・松江城授業プロジェクト「松江城及び松江歴史館見学」（松江市教育委員会主催）（8 年目）

→学芸員等が市立小学 6 年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内。（全 34 校 1,928 人）

・松江歴史館を訪れた市内 6 年生への無料観覧パスポートの進呈

→学習意欲のある児童を支援するため、自主的に松江歴史館を訪れた市内 6 年生に、松江歴史館及び松江ホーランエンヤ伝承館の年間無料観覧パスポートを進呈。※進呈者数 45 人

・「めざせ！お城マスター！～もっと知りたい松江のお城と城下町～」の実施

→松江市内の歴史に興味がある小学 5・6 年生を対象に、松江城や城下町の歴史や、文化財を保存し活かす博物館の役割について説明や案内をした。（4 回、23 人）

（４）広報

・松江歴史館ニューズレター「MATSUREKI」の刊行

→5 号（夏号）、6 号（冬号）の刊行

・館長による情報発信

→毎月第 3 水曜日に「お城の見える窓から」と題した館長コラムを館ホームページにて掲載し、松江にかかわることなどの情報発信を行った。

松江歴史館

令和5年度事業実績（広報・誘客・施設管理）

【指定管理者】

（1）広報・誘客

様々な誘客イベントを開催し誘客に努めた。展示を絡めた集客イベントも8月と1月に開催できた。SNSなども週1回以上更新し、松江歴史館に興味を持ってもらえる様な記事を投稿した。また県外などで開催された観光情報説明会への参加や、旅行会社への営業(約90件)も積極的に行った。

開催日	件名	人数	概要
4月16日	火縄銃の演武と居合切り	①72人 ②45人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
4月23日	特別茶席「きはる庵」	27人	お茶会の雰囲気を経験していただく。一席1,500円
5月3日	火縄銃の演武と居合切り	①314人 ②246人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
5月3日～5日	オリジナル缶バッジづくり	3日30人 4日36人 5日25人	好きな絵を描いたり、絵に色を塗ってオリジナル缶バッジをつくる。2個100円
5月3日～7日	ダンボール迷路で遊ぼう	3日43人 4日50人 5日50人 6日37人 7日15人	ダンボールで出来た迷路で松江城天守に見立てたゴールをめざす。小学生以下対象、1回100円
5月5日	新聞かぶとプレゼント	50人	当日来館の子どもに、新聞で作った兜をプレゼント
5月27日	写経体験	12人	学芸員の案内で企画展示を見た後、島根県仏教会の僧侶による指導で写経を行う
6月2日	坐禅体験	13人	学芸員の案内で企画展示を見た後、島根県仏教会の僧侶による指導で坐禅を行う
6月4日	武者の日「弓打ち射的」	167人	竹の弓で的を狙い、大将の的を倒したら景品を進呈
7月5日～9日	めでたしめでたし 皆で楽しむキルト展 パートⅡ	1297人	キルトボックスによるパッチワークキルトの作品展 大人600円（前売500円）、中学生以下無料
7月5日	キルト展ギャラリートーク	①60人 ②49人	内藤和美氏(キルトボックス代表)と神英雄氏(元加納美術館館長)による展示解説
7月8日	キルト展ギャラリートーク	①61人 ②33人	内藤和美氏(キルトボックス代表)と神英雄氏(元加納美術館館長)による展示解説
7月16日	火縄銃の演武と居合切り	①80人 ②88人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
7月22日	めざせ！お城マスター Aコース 松江城天守を極める！	5組6人	市内小学5、6年生対象のフィールドワーク。定員5組、参加無料
7月23日	特別茶席「きはる庵」	15人	お茶会の雰囲気を経験していただく。一席1,500円

開催日	件名	人数	概要
7月29日	めざせ！お城マスター Bコース 松江城のお 宝と対面！	4組6人	市内小学5、6年生対象のフィールド ワーク。定員5組、参加無料
8月1日～ 31日	暗号を解読せよ	559人	展示室内に設置された暗号を解読す る。景品あり
8月5日～ 16日	給食気分を味わおう	210人	学校給食の一部(パン・牛乳・デザー ト)を教室風の部屋で食べる。1食500 円、各日数量限定
8月20日	火縄銃の演武と居合切 り	①100人 ②60人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による 演武。観覧無料
9月3日	足踏みオルガンコンサ ート	41人	昔の小学校にあったオルガンで唱歌 などを演奏。演奏／小早川恵子氏
9月10日	めざせ！お城マスター Cコース「難攻不落、松 江城の秘密～攻防の仕 組みを探る～」	2組4人	市内小学5、6年生対象のフィールド ワーク。定員5組、参加無料
9月17日	めざせ！お城マスター Dコース「昔の松江ブラ あるき！～江戸時代に タイムスリップできる 歩き方～」	4組9人	市内小学5、6年生対象のフィールド ワーク。定員5組、参加無料
9月17日	火縄銃の演武と居合切 り	①178人 ②152	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による 演武。観覧無料
9月23日	一夜かぎりのナイトミ ュージウム	820人	水燈路にあわせ、展示室を無料開放
9月24日	足踏みオルガンコンサ ート	32人	昔の小学校にあったオルガンで唱歌 などを演奏。演奏／小早川恵子氏
10月8日	火縄銃の演武と居合切 り	①184人 ②162人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による 演武。観覧無料
10月15日	特別茶席「きはる庵」	24人	お茶会の雰囲気を経験していただ く。一席1,500円
11月10日～ 26日	路上詩人こーた個展 「楽」		路上詩人こーた氏による書や墨絵の 作品展。
11月19日	火縄銃の演武と居合切 り	①138人 ②94人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による 演武。観覧無料
11月23日	篆刻教室	①4人 ②11人	島根篆刻会会員の指導で、名前や干支 などの文字を石に彫ったオリジナル の印を作成
12月9日	まこもを使ったしめ縄 づくり	9組10人	正月かぎりのしめ縄を、真菰(まこも) を使って作る。参加費2,000円、定員 10人 講師／多久和厚氏(里山笑楽校)
12月9日	クリスマスコンサート	71人	バイオリン、キーボードの演奏による 子供から大人まで楽しめる音楽会。参 加無料。出演/原夏希氏・小早川恵子 氏
1月2日～ 3月 16日	【開館13周年記念】観 覧券をあつめてプレゼ ントをもらおう	82人	観覧券を3枚あつめるとプレゼント 進呈。あわせて島根和牛などが当たる 抽選にも応募できる
1月2日～ 14日	観覧券が当たるおみく じ配布	1016人	喫茶きはるで喫茶メニューを注文の 人に、展示観覧無料券または割引券が 当たるおみくじを進呈
1月2日	書き初め	48人	学校の宿題や新年の抱負など自由に 書き初めしてもらおう。開眼師範による 指導もあり。 参加無料、定員1回(30分)5人×10 回
1月2日	松江城鉄炮隊初撃ち	①150人 ②220人	松江城鉄炮隊による新年初の火縄銃 の鉄砲演武

開催日	件名	人数	概要
1月3日	ビニール凧づくり	13組 18人	凧をビニールとストローで簡単に作る。1枚 100円
1月21日	特別茶席「きはる庵」	18人	お茶会の雰囲気を経験していただく。一席 1,500円
1月26日～ 3月31日	人生すごろくで遊ぼう		明治時代のサムライの人生をテーマにした“飛びすごろく”で遊ぶコーナー。参加無料
2月10日～ 12日	オリジナル人生すごろく作り		自分になりたい職業をゴールにしたオリジナルの飛びすごろくを作る。参加無料
3月2日	花もちづくり	6組 19人	松江の桃の節句のお菓子・花もちを作る。参加費 1組 1000円、定員 6組
3月9日～ 3月31日	暗号を解読せよ	155人	展示室内に設置された暗号を解読する。景品あり
3月17日	松江歴史館開館 13 周年記念イベント	歴史館 1164人 ホ伝 286人	展示室無料開放や豚汁配布、パンや野菜の販売など盛りだくさんのイベント
3月17日	松江歴史館開館 13 周年記念 忍者を探せ！スタンプラリー	59人	3か所にいる忍者のクイズに答えてスタンプを集めると景品を進呈。参加無料
3月17日	松江歴史館開館 13 周年記念 火縄銃の演武と居合切り	①154人 ②201人	松江城鉄炮隊と不傳流居合術の演武。観覧無料

・ 松江城天守 VR 体験の実施【継続】

松江城天守へ登閣が困難な方等への登閣疑似体験の提供や VR のエンターテインメント性を活かした天守の魅力発信のため、令和 4 年度から毎週土・日・祝に実施しており、令和 5 年度は 750 人の参加があった。

(2) 維持管理業務

・ 設備等管理

保守点検業者と密に連携し対応した。夜間などに異常がみられた際も速やかに対応した。修繕が必要な際は松江市に報告し、協議の上で行った。

・ 清掃業務

清掃員を雇用し仕様書に沿って清掃業務を行った。清掃員以外も毎朝清掃を行い、お客様エリアは一定の品質を保つことが出来た。今後も引続き美化活動に努める。

・ 危機管理

消防計画、防災マニュアル、緊急連絡網などを作成・見直しを実施し、共有。また消防訓練と心肺蘇生法も消防員に来ていただき、講習会を開催し、実際の動きなども確認した。大雪などの際も早めに出勤し雪かきを行い、利用者の安全等を確保した。

・ その他

- ・ 年間パスポート会員 : 214 人 (市内 6 年生向け年間パスポート数は除外)
- ・ ボランティアスタッフ : 46 人

松江歴史館

令和6年度の主な運営状況について

(1) 館全体に関わること

入館者数・観覧者数

- ・入館者数：[4～9月] 70,131人（令和5年度53,072人、令和5年度比 132%）
- ・観覧者数：[4～9月] 21,989人（令和5年度26,291人、令和5年度比 84%）

→入館者数は昨年度と比べて増加しているが、観覧者数は昨年度よりも減少している。各月の観覧者数を見ると、6月以降は前年度を下回っている。入館者を観覧につなげる取り組みが必要である。

(2) 具体的な取り組み

【松江市】

展示・企画 ※年間展示のスケジュールや内容は次頁のとおり

・企画展「神々の美術―出雲の神像と神宝―」

[会期：4月26日～6月16日（46日間）、観覧者数：3,663人（1日平均80人）]

→神々の姿を表した神像と神社に奉納された神宝を展示し、出雲の神道美術の素晴らしさをあらためて伝える展覧会とした。

→当館学芸員による展示にまつわる講座を7回開催した。（参加者199人）

→国宝1点、重要文化財8点、県指定文化財22点、重要有形民俗文化財1件を展示し、県内の普段見ることができない文化財を見てもらう貴重な機会となった。

・企画展「松江のスポーツ今昔」

（松江体育協会創立100周年記念）

[会期：7月12日～9月16日（59日間）、観覧者数：2,430人（1日平均41人）]

→江戸時代の武術や松江体育協会設立以降の松江のスポーツの発展を紹介した。

→記念講演会「松江藩武術の復活」（講師：NP0 法人重吉伸一サムライ道場 重吉伸一氏）を開催した。（参加者36人）

→「近代スポーツの父」と呼ばれる松江出身の岸清一氏が所蔵していた、1932年開催のロサンゼルスオリンピックの記念プレートの寄託をうけ、本展にて展示した。

・特別展「月照寺と松平家の宝」

[会期：10月4日～11月24日（45日間）]

→月照寺開基360周年を記念し、松江松平家の歴代藩主の墓所としての様子や、松平家ゆかりの貴重な宝物の数々を紹介した。

→記念講演会「松平不昧の茶道具収集～雲州蔵帳について～」(講師：島根県立美術館長 藤間寛氏)を開催した。（参加者51人）

→企画展のイベントとして初心者向けに廟所等を学芸員が案内するやさしい月照寺ツアーを開催予定。（11月16日（土））※英・中・仏・韓の通訳あり

→雲州蔵帳に記載されている国宝「照禅者あて偈頌」や重要文化財「遠浦帰帆図」などを県外から借用し、普段見ることができない文化財を見てもらう貴重な機会となった。

・館蔵品展「大橋茂右衛門」

教育普及

・名誉館長講座〈継続〉

→藤岡名誉館長による古代から近代までの出雲の歴史についての講座。(月 1 回、4 月～実施)

・松江おもしろ談義－歴史をたずねる・美術にたしむ－〈継続〉

→学芸員による松江の歴史や美術に関する講座。(月 1 回)

・松江城授業プロジェクト「松江城及び松江歴史館見学」(松江市教育委員会主催)(9 年目) 〈継続〉

→市立小学 6 年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内。(全 34 校 1,755 人予定)

・松江歴史館を訪れた市内 6 年生への無料観覧パスポートの進呈〈継続〉

→学習意欲のある児童を支援するため、自主的に松江歴史館を訪れた市内 6 年生に、松江歴史館及び松江ホーランエンヤ伝承館の年間無料観覧パスポートを進呈。
(進呈者数 17 人 [9 月末現在])

・「めざせ！お城マスター！～もっと知りたい松江のお城と城下町～」の実施〈継続〉

→松江市内の歴史に興味がある小学 5・6 年生（保護者含む）を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学するコースを用意。4 回企画し、7 月 21 日（日）は 9 人、7 月 28 日（日）は 7 人、9 月 22 日（日）は 9 人、9 月 29 日（日）は 10 人の参加があった。歴史館の職員が引率し、松江城や城下町の歴史や、文化財を保存し活かす博物館の役割について学習する機会をつくった。(指定管理者との連携事業)

調査研究

・『松江歴史館研究紀要 第 13 号』の刊行〈継続〉

広報

・松江歴史館ニューズレター「MATSUREKI」の刊行〈継続〉

→7 号（夏号）[発刊済み]、8 号（冬号）[発刊予定]

・館長による情報発信〈継続〉

→毎月第 3 水曜日に「お城の見える窓から」と題した館長コラムを館ホームページにて掲載し、松江に関わることなどの情報発信等を行っている。

近隣施設との連携

- ・11 月 3 日（日）に田部美術館主催で塩見縄手周辺の 18 の店舗・施設と連携したイベントを実施。当館は、観覧料割引とオリジナルしおりのプレゼントを行った。(来館者 4 名)
- ・松江城天守祈禱札の実物展示期間にあわせ、本丸内でテントを設置し、指定管理者により二館共通券の販売斡旋を行った。(11 回実施、130 枚販売)

企画展

令和6年(2024) 4.26 金 - 6.16 日

神々の美術－出雲の神像と神宝

出雲は神々の国と言われ、神社の歴史が古く数も多いことは有名です。その神社には数多くの文化財が遺されています。今回の展覧会では、その文化財の中から、神々の姿を表した神像と、神社に奉納された神宝を展示します。普段は公開されない国宝や重要文化財に指定された貴重な神像、神宝も展示します。出雲の神道美術の素晴らしさを、あらためて知ることのできる展覧会です。

「御櫛筒及内容品」
(出雲大社蔵)



特別展

令和6年(2024) 10.4 金 - 11.24 日

月照寺と松平家の宝

松江城下にある月照寺は浄土宗の寺院で、松江松平家の歴代藩主が眠る墓所です。初代・直政の生母・月照院を弔うため開かれ、二代・綱隆によって菩提所とされました。藩主それぞれの墓には廟門が堂々と備わり、墓所として国指定の史跡にもなっています。また、七代・不昧の「雲州蔵帳」をはじめとする松平家ゆかりの貴重な宝物が多数伝わってまいります。本展は月照寺の開基360周年を記念して開催し、墓所としての様相や、宝物の数々を紹介します。

「松平不昧肖像画」
(月照寺蔵)



企画展

令和6年(2024) 7.12 金 - 9.16 月

松江体育協会設立100年記念
松江のスポーツ今昔

松江体育協会設立100年を記念し、松江における江戸時代から現代までのスポーツについて取り上げます。江戸時代のスポーツといえば武術、松江藩では剣術の「不伝流居合」「新当流兵法」、鎧術の「一指流管鎧」「樫原流鍵鎧」、柔道の「直信流柔道」が御流儀と呼ばれ行われました。近代になると大日本体育協会会長となる岸清一の支援を受け、松江体育協会が結成されて多くのスポーツ選手が活躍します。本展では、「柔道」という名称を日本で初めて使った直信流柔道や近代松江のスポーツについて紹介します。

「直信流柔道甲冑所作」
(個人蔵) 大正4年撮影



館蔵品展

令和7年(2025) 1.24 金 - 3.30 日

松江藩を支えた家老
大橋茂右衛門

寛永15年(1638)、信濃国松本藩7万石から出雲国松江藩18万石余の藩主となった松平直政は、家臣団の拡大、再編を行います。その家臣団の筆頭として迎えられたのが、大橋茂右衛門でした。茂右衛門は広島藩主となる福島正則に仕え、関ヶ原の戦いの前哨戦である岐阜城攻めで武勲をあげた人物でした。松江藩に迎えられた大橋家は代々家老を務め、明治維新の難局も乗り越えました。本展では、大橋家旧蔵資料などを通じ筆頭家老として松江藩を支えた大橋茂右衛門を紹介します。

「桶側二枚胴具足 蜻蛉形兜付」
(当館蔵)



【指定管理者】

利用促進

- ・市報や新聞、情報冊子への展示・イベント情報の掲載
- ・SNSでの情報発信 → 展示情報やイベント情報など様々な情報を週1回以上のペースで発信。
(Twitter ※現在X、インスタグラム、Facebook)
- ・旅行会社への営業活動 → 商談会などに参加し、歴史館をPR。
- ・松江城からの誘客活動
- ・各種イベント、誘客活動の実施一覧

件名	内容	人数	概要
4月14日	火縄銃の演武と居合切り	231人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
4月21日	特別茶席「きはる庵」	11人	お茶会の雰囲気気を気軽に体験していただく。一席1,500円
5月3日	火縄銃の演武と居合切り	464人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
5月3日～5日	弓打ち射的・手裏剣的当て	532人	弓で大将を倒したり手裏剣を的に当てたら景品を進呈。1回100円
5月5日	松江真舞会 石見神楽上演	421人	松江市の石見神楽団体「松江真舞会」による上演。演目／頼政※子供メンバーによる上演、大蛇。鑑賞無料
5月8日～6月30日	年間パスポート購入キャンペーン	60人	期間中に年間パスポートを新規購入または更新した人に喫茶・ショップの割引券を進呈
6月9日	「武者の日」弓打ち射的	156人	「武者の日」関連イベント。弓で大将を倒したら景品を進呈。1回100円
6月21日～7月7日	3103*イラストレーション展「知られざる松江のミューズ—松江にまつわる女性・女神の物語—」		松江の歴史の女性や女神にフォーカスした、松江市在住デザイナー・イラストレーター3103*(Satomi)によるイラスト展
7月14日	火縄銃の演武と居合切り	145人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
7月21日	お城マスターAコース「松江城のお宝と対面！～松江歴史館の裏側拝見～」	6組9人	市内小学5、6年生対象のフィールドワーク。定員5組、参加無料
7月21日	特別茶席「きはる庵」	17人	お茶会の雰囲気気を気軽に体験していただく。一席1,500円
7月22日～9月16日	フリースローコーナー設置		企画展にあわせ、バスケットゴールを設置
7月28日	お城マスターBコース「武将の装い～鎧・兜の巻～」	4組8人	市内小学5、6年生対象のフィールドワーク。定員5組、参加無料
8月10日	マツエジョーDAYS 手裏剣的当て、缶バッジづくり、投扇興体験	手裏剣87人、バッジ37人	松江城に親しんでもらうイベントに館のPRのため出展。アンケートも実施
8月10日～9月16日	聖火リレーのトーチを持ってみよう		1964年と2020年の東京オリンピック聖火リレーで使用されたトーチを持つことができる。無料
8月11日	火縄銃の演武と居合切り	267人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
8月11日	伝統武術演武 直信流柔道	69人	企画展関連イベント。直信流柔道の演武 演武／雲藩直信流柔道研究会
9月15日	火縄銃の演武と居合切り	222人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料

件名	内容	人数	概要
9 月 22 日	お城マスターC コース「難攻不落、松江城の秘密～攻防の仕組みを探る～」	6 組 9 人	市内小学 5, 6 年生対象のフィールドワーク。定員 5 組、参加無料
9 月 29 日	お城マスターD コース「松江城下をブラあるき！～江戸時代にタイムスリップできる歩き方～」	5 組 11 人	市内小学 5, 6 年生対象のフィールドワーク。定員 5 組、参加無料
10 月 5 日	一夜かぎりのナイトミュージアム in 松江歴史館	1018 人	水燈路にあわせて館内の無料開放と喫茶の延長営業
10 月 13 日	火縄銃の演武と居合切り	286 人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
10 月 20 日	特別茶席「きはる庵」	10 人	お茶会の雰囲気을気軽に体験していただく。一席 1,500 円

・松江城天守 VR 体験の実施【継続】

令和 6 年度 4 月以降 259 人の参加があった。

今後のイベント予定

- ・「路上詩人こーた個展」(11/29～12/15)
- ・「火縄銃の演武と居合切り」(11/10)
- ・「篆刻教室」(11/23)
- ・「しめ縄作り」(12/7)
- ・「書初め教室」(1/2)
- ・「火縄銃初撃ち」(1/2)
- ・ビニール凧作り体験(1/4)
- ・館蔵品展「松江藩を支えた家老 大橋茂右衛門」関連イベント(1/24～3/30)
- ・「花もちづくり親子体験」(2 月予定)
- ・朝ドラ「ばけばけ」関連イベント(3/22・3/23)
- ・「開館 14 周年記念イベント」(3/23)

維持管理業務

・設備等管理

保守点検業者と密に連携をとり管理している。開館 13 年を越え、修繕箇所が多くなっているが、松江市と協議しながら優先順位をつけて対応している。

・清掃業務

館内の清掃について、仕様書に基づき実施している。毎朝 8 時 40 分～9 時 00 分の間は清掃サイクル表を作成し、開館作業以外の職員も清掃を行い、品質を保つよう努めている。普段できない箇所などは、休館日を利用して実施している。今後もお客様目線で隅々まで清掃業務に努める。

・危機管理

消防計画、防災マニュアル、緊急連絡網などを作成し共有している。2 月には職員を対象とした原子力災害研修を計画している。

・その他

令和 7 年 1 月 20 日には、外部講師を招き接客研修を実施予定。常に接客レベル向上を目指すように努める。

松江歴史館

令和7年度運営方針・事業計画（案）

開館から14年を経て、博物館が持続的に運営を続けていくために、市民に親しまれるとともに全国に誇れる博物館を目指して、市と指定管理者が緊密な連携を図って、以下の方針で運営していく。

（1）館全体の運営方針

観覧料等の料金改定について

- 松江市では「公共施設使用料設定の基本方針」に基づき、3年ごとに市有施設の使用料の見直しを図っている。近年の光熱費・労務費の上昇に伴い、維持管理費が増加する中で、施設を継続して維持していくために、観覧料及び施設使用料を令和7年4月1日より改定することになった。また、市民への負担軽減・暮らしの充実の観点から、観覧料については、市民割引を導入する。改定後の料金は別紙（1）のとおり。
- 本市が所管する松江城周辺の観光施設の減免基準を参考にして、学校の観覧料の減免対象について令和7年4月1日より下記のとおり一部改正を行う。

〔改正内容〕

小学校、中学校及び義務教育学校の児童若しくは生徒若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて松江歴史館を観覧する者並びにその教職員の観覧料の減免については、これまで市内外対象にしていたが、松江市内の学校に限定する。

館の改修についての検討〈継続〉

- 開館から14年が経過する中で、持続的に館の運営を続けていくため、設備の計画的な修繕を行っていく必要がある。また、館の魅力を向上させるため、調査研究成果を取り入れた基本展示の改修の検討を進めていく。

公開承認施設としての適切な運営について〈継続〉

- 松江歴史館は、令和4年8月7日から令和9年8月6日まで5年間、国宝や重要文化財の公開に適した博物館として「公開承認施設」に承認されている。引き続き公開環境の維持を図る。

登録博物館について〈継続〉

- 令和5年4月1日付けの博物館法の改正で、博物館登録制度の見直しが行われ、既に登録されている博物館においても、法改正に沿った申請が改めて必要となった。経過措置期間内の令和9年度までに、申請手続きを行う。

指定管理者制度について

- 2期目の指定管理者制度は、来年度末の令和8年3月31日までとなる。令和8年4月1日以降の管理運営体制について検討し、計画的に準備を進めていく。

(2) 個別事項の運営方針・事業計画

【松江市】

展示・企画

○企画展を年4回開催する。このうち1回は館蔵品を中心に展示する。

① 企画展「小林如泥—その技神の如し—」

【会期】4月25日（金）～6月15日（日）〔公開日数：46日〕

【概要】小林如泥(1753-1813)は、松江藩松平家7代藩主松平治郷（不昧）に仕えた指物師で、類まれなる高い技術を持ち、透かし彫りや厚材の扱いに定評がある。本展は、如泥の作品と如泥に影響を受けた人々の作品を紹介し、松江が誇る木工文化のすばらしさを改めて認識する機会とする。

② 館蔵品展「長崎家の簾細工—松江でつづく丁寧な仕事—」

【会期】7月18日（金）～9月15日（月・祝）〔公開日数：53日〕

【概要】長崎家の簾細工は、江戸時代末期、松江藩の料理方であった長崎仲蔵が、江戸にある松江藩下屋敷で簾細工を作ったことが始まりとされている。本展は、初代長崎仲蔵から現在までの作品を展示し、江戸時代から松江で作られ続けてきた簾細工の一端を紹介する。

③ 特別展「慶長の城」

【会期】10月10日（金）～12月7日（日）〔公開日数：51日〕

【概要】松江城天守国宝指定10周年を記念し、松江城研究の成果に基づき、中国地方の城と比較しながら、新領主の手により新たに築かれた「慶長の城」松江城の姿をあらわす。

④ 企画展「松江の小泉八雲夫妻（仮）」

【会期】12月末頃～3月29日（日）

【概要】小泉八雲・セツのドラマが放映されることにともない、二人の生きた時代背景を館所蔵資料から紹介する。

○今後の企画展の開催に向けた調査研究、借用交渉を行う。

令和8年度に予定している企画展のテーマ

「意東焼（仮）」

「松江町人太助の世界（仮）」

「猪目が揃う松江藩の甲冑（仮）」

「館蔵品展」

資料の収集・保存・活用

○松江の歴史や文化に関わる後世に残すべき貴重な資料は、購入、寄贈、寄託等により収集する。

○資料の適切な保存、活用を図るため、収蔵資料の点検や整理などを継続的に行う。また、資料を効果的に活用するため、収蔵品データベースに情報を登録し、必要なものは公開していく。

教育・普及

- 学芸員などによる各種講座を定期的を開催する。
(松江おもしろ談義〔月1回〕など)
- 市内の小・中学校、高校など、児童・生徒の歴史学習の場として活用してもらう。
特に「松江城授業プロジェクト」の実施を引き続き教育委員会と協力して実施する。
- 地域の歴史や文化について探求する地元の教育機関への協力も引き続き実施する。
- 子どもだけでなく、親子で松江の歴史や文化に親しむ機会を設けていく。
(令和3年度にはじめた「めざせ！お城マスター！」のような企画など)

調査・研究

- 調査研究した成果を研究紀要（第14号）や講演会などで発表していく。

広報

- 松江歴史館ニューズレター「MATSUREKI」を刊行する。(9号〔夏号〕、10号〔冬号〕)
- 様々な媒体を通して、効果的にPRしていく。

【指定管理者】

利用促進

- インバウンド客に向けたパンフレット作成、館内表示の見直し
- HP、SNSの積極活用による施設情報の提供
- 県内外旅行会社などへの営業訪問
- 新聞・広報誌への情報掲載
- 各企画展誘客イベントの開催
- 宿泊施設、観光施設等との連携
- 喫茶きはる販売促進活動（年3回）
- 年パス購入促進キャンペーン実施（年1回）
- 松江城VR体験のPR活動
- 松江城国宝10周年関連イベント開催
- NHK朝ドラ「ばけばけ」関連イベント開催

○イベントの開催予定一覧

開催予定時期	イベント名
4月	・火縄銃演武
5月	・GW イベント ・企画展関連イベント
6月	・変化朝顔の植え替え、苗植え ・武者の日イベント
7月	・七夕飾り ・親子体験活動 ・松江城国宝10周年関連イベント
8月	・めざせ！お城マスター ・企画展関連イベント
9月	・めざせ！お城マスター
10月	・水燈路 ナイトミュージアム ・お客様アンケート強化イベント
11月	・火縄銃演武 ・企画展関連イベント ・篆刻教室 ・詩人こーた個展
12月	・しめ縄作り
1月	・鉄砲隊初撃ち ・新春プレゼント企画 ・新春書初め
2月	・花もち作り
3月	・開館15周年イベント ・企画展関連イベント

施設管理

- 委託業者と連携し、設備機器・庭園管理など仕様に沿って適切に維持管理を行う。開館後13年を過ぎ修繕箇所も多くなっている為、松江市と協議しながら計画的に修繕を行い、利用者が安心・安全に利用できる施設管理を行っていく。

松江歴史館

運営協議会 委員名簿

(敬称略、五十音順)

役 職	氏 名	役職名等	分 野
会 長	小 林 准 士	島根大学法文学部社会文化学科教授	学識経験者
副会長	田 川 伊 智 子	松江市立朝日公民館長	社会教育関係
委 員	落 合 公 彦	島根県立美術館支配人	社会教育関係
〃	杉 岳 志	島根県立大学人間文化学部地域文化学科准教授	学識経験者
〃	瀨 岡 宏 行	松江市立恵曇小学校長	学校教育関係
〃	田 部 長 右 衛 門	公益財団法人 田部美術館代表理事兼館長	社会教育関係
〃	錦 織 秀	島根県立古代出雲歴史博物館長	社会教育関係
〃	引 野 道 生	山陰中央新報社編集局情報部文化担当参与	学識経験者
〃	平 川 眞 代	松江市子育てサポーターの会	家庭教育関係
〃	福 島 律 子	元松江市教育長	学校教育関係

任期:令和4年12月1日～令和6年11月30日

松江歴史館運営協議会に関する法律・例規条文（抜粋）

博物館法

（博物館協議会）

第 23 条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

松江歴史館の設置及び管理に関する条例

（運営協議会）

第 26 条 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 23 条第 1 項の規定に基づき、歴史館に松江歴史館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、市長が任命する。

3 委員の定数は、10 人以内とする。

4 委員の任期は 2 年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 前各項に定めるほか、協議会に関し必要な事項は、規則で定める。

松江歴史館の設置及び管理に関する条例施行規則

（運営協議会の運営）

第 11 条 松江歴史館運営協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、協議会の委員（以下「委員」という。）の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

5 協議会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じ会長が招集する。

6 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

7 会議の議長は、会長をもって充てる。

8 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

9 協議会の庶務は、松江歴史館において処理する。

10 前各項に規定するもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

〒690-0887

松江市殿町279番地

松江市文化スポーツ部松江歴史館

電 話： (0852) 55 - 5511

FAX： (0852) 32 - 1611

E-mail: rekishi@city.matsue.lg.jp